

産地収益力向上支援事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜産物名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況														具体的な取組内容	事業内容(工種、施設区分、構造、規格、能力等)	地方農政局長等の意見
						基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	目標年度	目標値	達成率			
						平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度	令和2年度	—	—			
新潟県	阿賀野市	阿賀野市有機農業推進協議会	水稲	22年度	農業産出額の増加	34,155千円	34,581千円	35,194千円	36,810千円	31,317千円	28,571千円	21,456千円	47,353千円	38,957千円	31,330千円	34,521千円	36,664千円	48,600千円	17%	・研修会、産談会の開催による有機農業者数、有機面積の拡大・各技術学習会への参加と実地農の改善や課題による栽培技術の実証 ・一方、米については、年間10万トンずつ消費量が低下していること、また、県営は別産地事業において高収益作物(園芸作物)の作付けが期待されるなど、有機水稲の作付けの大幅な拡大はできなくなり、有機水稲以上に労力が必要(労働集約的)な有機野菜等の作付け拡大は、高齢化等の影響に強い厳しい状況となっている。 ・具体的には、平成29年と令和2年の比較では、 ・有機農業取組面積 16.42ha → 19.44ha ・農業産出額 31,330千円 → 36,664千円 ・生産量 60.78t → 70.92t ・農業者数 26人 → 25人 となっている。当該協議会については事業開始から現在にわたり、有機農業取組面積を維持しており、今後引き続き有機農業の拡大に向けて前向きに取り組むとしていることから、実施要綱第7の3の(2)に該当するとして、今年度の評価をもって当該事業評価を終了とする。		
					有機農業者数の増加	31人	32人	30人	21人	22人	35人	40人	30人	28人	26人	23人	25人	—	—			
					有機農業面積の増加	20.50ha	20.67ha	20.78ha	18.71ha	19.42ha	25.30ha	17.69ha	15.99ha	16.42ha	16.55ha	19.44ha	—	—				
					有機米生産量の増加 (参考：単収)	79.05t (386kg/10a)	77.88t (377kg/10a)	74.43t (358kg/10a)	64.11t (343kg/10a)	69.03t (355kg/10a)	64.86t (305kg/10a)	53.04t (210kg/10a)	87.12t (492kg/10a)	64.86t (406kg/10a)	60.78t (370kg/10a)	67.17t (405kg/10a)	70.92t (364kg/10a)	108t (432kg/10a)	-28% (-47%)			